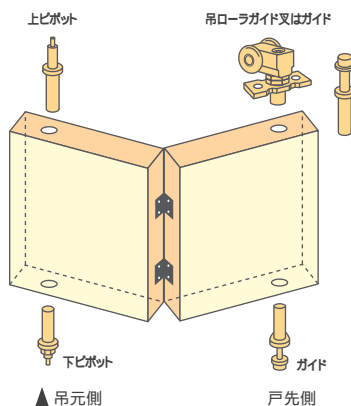
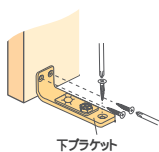


金具の取付 (金具を取付ける前に内法(うちり)を正確に採寸し、左ページを参考にして折戸を製作してください。)

枠の取付にゆがみがあると、開閉時の音の原因や動きが重くなりますので垂直に取付けて下さい。
 ヒンジはヒンジの軸が折戸に対して垂直になるように取付けて下さい。
 折戸にR面取りをすれば折戸を開ける時、指詰め心配がありません。

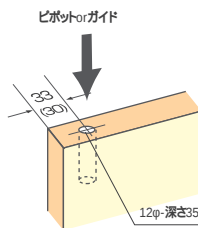


下部レールなし仕様の場合



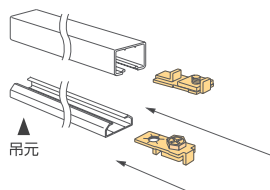
吊元固定用の下ブラケット (F253) を吊元の床(または下枠)と縦枠に木ネジ止してください。

例1 軸吊式



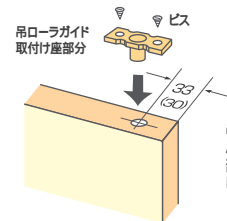
吊元と戸先の上下に12mmφの穴をそれぞれ開け、ピボット金具とガイドを取付ます。
 ピボット取付工具 (A552・A551) を使うと簡単に取付出来ます。

取付寸法を30mmにする場合は戸厚マージンが変更になります (左ページ参照)



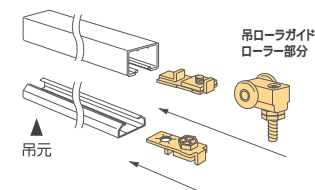
レールを取り付ける前にブラケットを上図の方向に挿入して下さい(差込方向にご注意ください)。その後レールを枠に取り付けます。

例2 吊ガイド式



吊ローラーガイド使用の場合は取付座部分をビスで固定してください。

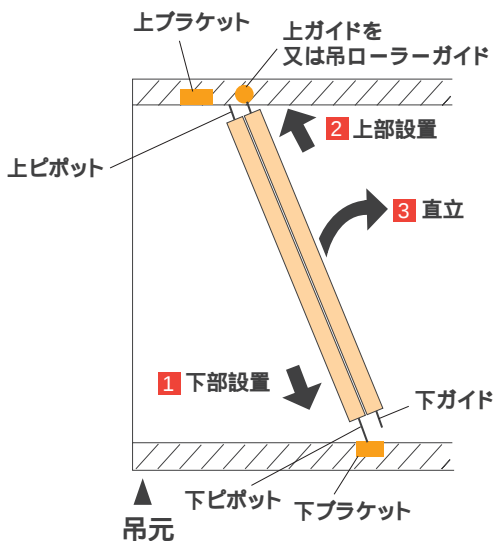
取付寸法を30mmにする場合は戸厚マージンが変更になります (左ページ参照)



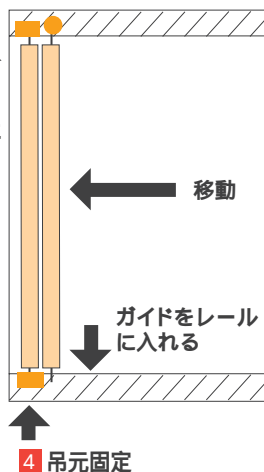
レールを取り付ける前にブラケットと吊ローラーガイドを上図の方向に挿入して下さい(差込方向にご注意ください)。その後レールを枠に取り付けます。

戸の吊込法(2枚折戸の場合) ブラケットはレールに固定しないで上下の位置をずらしておきます。

上ピボットと上案内ガイドをドライバーや指で押し上げてブラケットとレールにセットする方法もあります。
 戸の厚みや重さ等を考慮して吊込みやすい方法を選んで下さい。



ピボットをブラケットに



1 下部設置
 折戸を折りたたんだ状態で傾け、下ピボットを下ブラケットに差し込みます。
 (下レールなし仕様の場合は固定された下ブラケット(F253)に下ピボットを差し込みます。)

2 上部設置
 上案内ガイドを上レールの溝に沿うように入れます。
 (吊ローラーガイドを使用する場合はローラー部と取付座部を結合してください。)

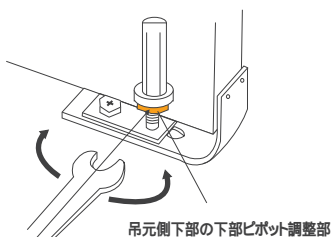
3 直立
 折戸の傾きを徐々に垂直に立てながら上ピボットを上ブラケットに差し込み、下ガイドを下レールの溝に沿うように入れます。

4 固定
 吊元の固定位置まで折戸を移動させ、上下ブラケットをスパナでしっかりと固定してください。

位置調整 調整後はスパナでしっかりと固定して下さい。

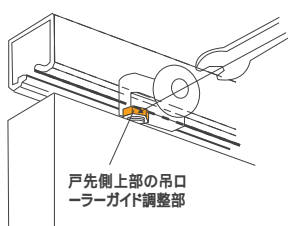
上下調整

下レール無仕様の場合



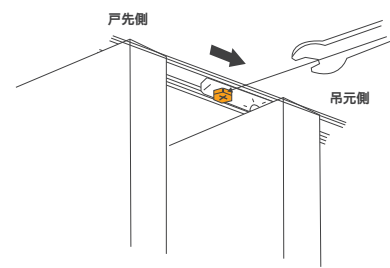
上下調整は下部ピボットの六角ナットで調整してください。

吊ローラーガイド仕様の場合



上ローラー部の六角ナットで調整して下さい。

左右調整



左右調整は上下ブラケットの固定位置で調整してください。